



4年

目指せ!! 41D・H 風!!

つち だ い き
横浜市立戸部小学校 土田大貴



実際の
資料は
こちら

単元構想から立ち上げまで～先生の頭の中をのぞいてみよう～

小单元①(5時間)

今年の総合を決めよう

- ① 3年生の学びを振り返り、もっとやってみたいことを出し合う。



3年生の学習から、もっとやってみたいことはあるかな？

社会でやった昔遊びが楽しかったよ。もっとやってみたい!!



全然揚がらないよ！どうしてだろう？

風揚げって空に揚がるときれいだし、やってみたいな。



4月/2週目

- 1 探究課題と照らし合わせて、学習材の候補をあげる。

【① 子どもの学びの振り返り】

3年生では、シャボン玉ショーや動物園マップで地域の方との関わりを楽しんでいたな。

【② 探究課題の確認】

今年はものづくりや伝統文化を学びながら、地域の方の思いや取組にも気付いてほしいな。

【③ 学習材のリストアップ】

試しに風で遊んでみたら、作ったり揚げたりと、興味をもって楽しんでいる子どもが多かったな。

- ② 実際に体験してみる。



- 2 書籍やネット、体験や見学から、学習材のウェビングをする。

【① 書籍等での情報収集】

風っていろいろな種類があるんだな。子どもたちはどれくらい本物に近い風を作れるんだろう。

【② 見学等での情報収集】

本物の風って迫力があってすごいな！絵や文字にもこだわりをもって作りそうだな！

【③ 体験等での情報収集】

実際に作ってみると、風って完成したときや揚がったときの達成感がすてきだな！

【④ 学習材のウェビング】

多様で魅力的な活動や対象がありそうだな！やっぱり風っていいかも！（QRコード参照）



※3

- ③ 体験を振り返り、今年の材や活動を決める。

もっと空高く揚がる風を作りたい！

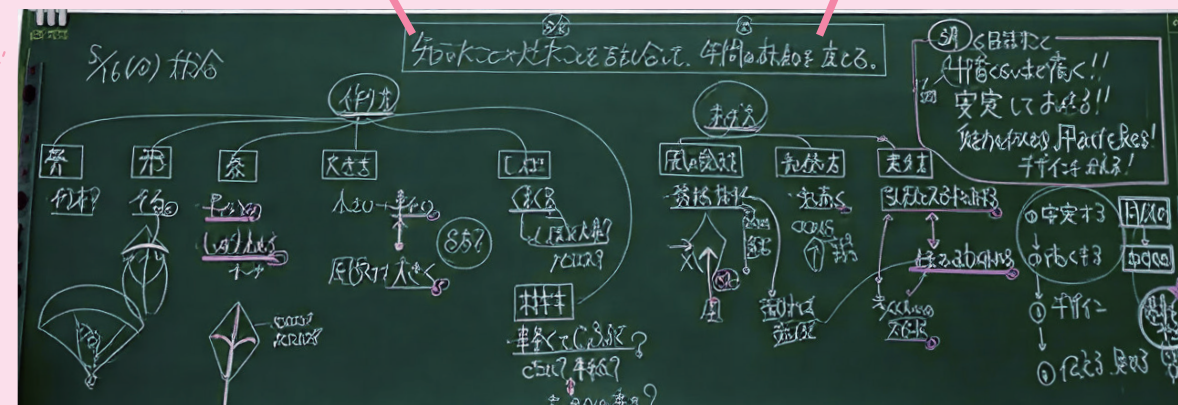


もっといろいろな風を作りたい！



単元の立ち上げ

今年の総合では、空高く安定して揚がる風を作りたい！



5月/1週目

- 4 学習材の検討シート(QRコード参照)を作成し、学年やブロックで検討する。

【① 魅力の分析】

- ・作る、揚げる、絵や文字をかくなどの多様な活動とすぐに繰り返し試すことができる環境
- ・風が完成したときや風が揚がったときの達成感
- ・風の歴史的な奥深さ
- ・地域の願いを込めた風作りと風揚げによる充実感

【② ゴールの想定】

風の魅力はもちろん、風文化の継承を願うSさんの思いや取組にも気付いてほしいな。

【③ 課題の想定】

基本のダイヤ風作りが上手くいったら、他の種類の風も作りたいと思うよね。その風の種類を調べていくうちに、風の歴史的な背景に興味をもつかな。

- 3 関わりがもてそうな専門家にメール等で連絡し、取材する。

【① 専門家探しと連絡】

書籍の著者や博物館の方、区役所の方、地域の方等から情報を集めて連絡をしよう。

【② 取材と依頼】

4年生だと、ダイヤ風から作り始めると作りやすくていいんだね。風って左右対称に作らないと絶対に揚がらないし、正確さや丁寧さが一つの壁になりそうだな。Sさんの風作りや風揚げの知識の深さと技術の高さに子どもは驚くだろうな。風文化の継承を願っているSさんの熱い思いにも気付いてほしいな。よし、Sさんと1年間関わりたい。大まかな日程と回数、内容、謝礼のご相談をしよう。



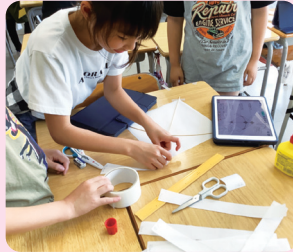
POINT

- ✓ 学習材の決定前に体験活動を取り入れ、子どもの興味関心を探る。
- ✓ 書籍やネット、体験や見学等で学習材への理解を深める。
- ✓ 専門家への取材を通して、学習材の本物の価値を学ぶ。
- ✓ 集めた情報から学習材の魅力を分析する。
- ✓ 課題のつながりとゴールの姿を想定し、単元のイメージをもつ。

単元立ち上げ後の活動の展開

小単元②(16時間)

ダイヤ風を作って揚げよう！



ボンドを使っているけれど、骨(竹ひご)がなかなかつかないな。テープで固定して、揚げたときにとれないようにしよう。

風が揚がる時もあれば、揚がらないときもあるぞ…。みんなで話し合ってみよう。

風って軽くて丈夫な材料だと空高く揚がるんだよ。テープをべたべた貼ると重くなってしまふからダメだよ。



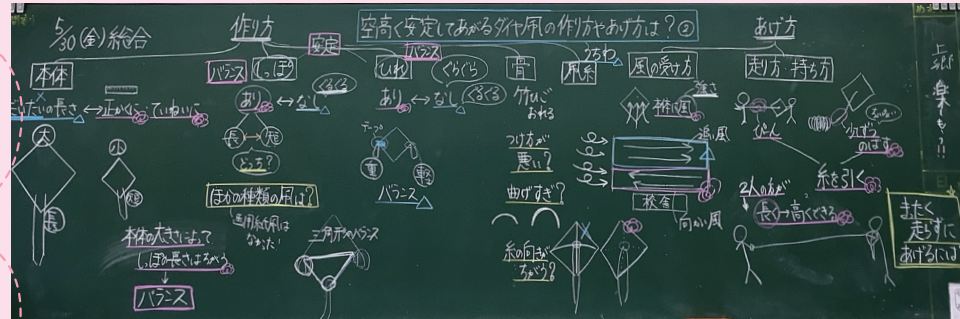
5月
～7月



まずは、基本のダイヤ風をお手本通りに作ろう。まっすぐ線を引いたり、型を作って切ったりするのって結構難しいぞ。

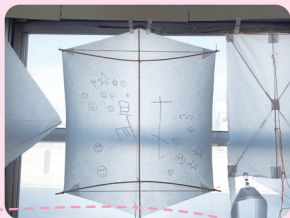
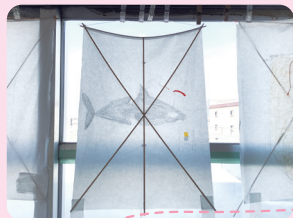


風が吹く方向と反対に向かって走ると空高く揚がったよ。もっと上手な作り方や揚げ方をプロに聞きたいな。



小単元③(16時間)

いろいろな風を作って揚げよう！



9月
～10月



丁寧に、正確に作っているけれど、なかなか揚がらないな。本物の風の作りを調べるために、風の博物館に行きたいな。

糸目の位置を変えて、風の角度を調節したら、空高く揚がるようになったぞ！嬉しいな！いろいろな風が作れるようになったから、風のイベントを開いて、戸部のまちの人と一緒に風を楽しみたいな！



風に地域の願いを込めて揚げるっていうのがすてきだなって思ったよ。私たちが戸部のまちの願いを知って、風を揚げたいな。



【風の専門家Sさんの話】
とにかく丁寧に、正確に作ることが大事。左右対称になっているか、障子紙を半分に折って確認しましょう。風を揚げるときには、風を背中に受けて風を見ながら糸の長さを調節しましょう。



【風の博物館のFさんの話】
みんなが作ったダイヤ風には糸目が1本だけだけど、今作っている角風や六角風等には糸目がいくつかあるね。糸目の位置がとっても大切だよ。風は、昔から地域の願いを込めて揚げられてきたんだよ。

小単元④(7時間)

自分たちの目指す風を決めよう！



【区役所の方の話】
まちに住んでいる人のつながりを大切にしています。つながりをつくるために、行事を開く等、いろいろな取組をしています。

【地域の方の話】
挨拶、行事の運営等を通して地域のつながりを作っています。信頼関係をつくるのが大事だと思っています。



「戸部のまちのつながりを大切にしたい」という願いを込めて、連風で表現するのはどうかな？



11月



区役所の方もまちの人も、このまちのつながりをつくるために、自分にできることを見つけて、取り組んでいるんだね。

小単元⑤(13時間)

自分たちの願いを込めた風を作ろう！

私は、よく行くカレー屋さんの店主さんが優しく、いつも声をかけてくれるところに繋がりをを感じるよ。だから、その店主さんの笑顔を連風で表したいな。



僕は、下校を見守ってくださる守り隊の方との関わりにつながりを感じるんだ。そのつながりを大切にしたいから、守り隊の方が挨拶をしてくれる様子をかくよ。



2月
～3月

小単元⑥(13時間)

願いを込めて、41風を揚げよう！



風作り体験や風揚げ体験もたくさんの方が来てくれてとても嬉しかったな。風が完成したときや揚がったときにみんなが喜んでいて嬉しかったよ。風の魅力が伝わったってことだと思うな。連風が揚がったときの歓声や一体感がとてもすてきだったな。本当に嬉しかった！



竹田先生のコメント

単元を立ち上げるために、教師は何をすることが大事か、それが示された実践です。

新学年のスタートとともに、教師は子ども達の経験や探究したい学習課題から「風」に焦点を当て、検討に入っています。まず、多様な方法で風についての情報収集をしています。特に、本物の風をみたり、自分で揚げてみたりしていることは、魅力を体感できる良い方法だと思います。

これらの情報をもとにウェビングを行い、活動の可能性や広がりを探ったうえで、専門家と連絡を取っています。専門家への取材は、教材研究を深めるとともに、その人の知識の深さや思いを感じ取ることができ、単元構想にも生きてきま

す。単元立ち上げ前に専門家とつながることの大切さがわかります。

この後、さらに分析を深め、学年などで検討しています。学級総合は教師の協働が欠かせません。魅力の分析、ゴールの子ども姿が想定できたところで、いよいよ単元が立ち上がりました。

「単元立ち上げ後の活動の展開」では、子ども達が風づくりや風揚げを楽しみ、目指す風に向けて工夫を繰り返していることがよくわかります。願いを込めて空高く風を揚げた子どもたちの笑顔や歓声が届いてきます。